官報　第三千百八十三號　明治二十七年二月十日　土曜日

官報

明治二十七年二月十日　土曜日　内閣官報局

○勅令

朕消防組規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治二十七年二月九日

内務大臣　伯爵井上馨

勅令第十五號

消防組規則

第一條　府縣知事水火災警戒防禦ノ爲メ必要ノ地ニ消防組ヲ設置スルトキハ此ノ規則ニ定ムル所ノ條規ニ依ルヘシ

第二條　消防組ノ設置區域ハ市町村ノ區域ニ依ルヘシ

町村制第百十六條第二項ニ依リ町村組合ヲ設ケタル場合ニ於テハ消防組ノ設置組織ハ其ノ組合ノ區域ニ依ルコトヲ得

府縣知事ハ土地ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ市町村内ノ一以上ノ大字若クハ區ヲ以テ消防組ノ設置區域ト爲スコトヲ得

第三條　消防組ハ組頭一人小頭若干人及消防手若干人ヲ以テ之ヲ組織ス

組頭及小頭ハ警部長若クハ其ノ委任ヲ受ケタル警察署長之ヲ命免ス

消防手ハ警察署長之ヲ命免ス

第四條　組頭ハ警察官ノ命ヲ承ケ部下ノ指揮取締ニ任シ庶務ニ從事ス

小頭ハ組頭ヲ助ケ組頭差支アルトキハ之ニ代ルモノトス

第五條　消防組ハ府縣知事之ヲ數部ニ分ツコトヲ得

第六條　消防組ハ府縣知事ニ於テ指定シタル警察署長之ヲ指揮監督ス

消防組ハ警察官ノ指揮ニ從ヒ進退スヘシ但水火災ニ際シ警察官臨場ノ暇ナキトキハ組頭若クハ小頭之カ指揮ヲ爲スコトヲ得

第七條　消防組ハ其ノ區域外ノ水火災ト雖警察署長ノ指揮ニ從ヒ其ノ警防ニ應援スヘシ

危急ノ場合ニ於テ警察署長前項ノ指揮ヲ爲スノ暇ナキトキハ他ノ警察官警察署長ニ代テ其ノ指揮ヲ爲スコトヲ得

第八條　警部長ハ府縣知事ノ命ヲ承ケテ其ノ地方全體ノ消防組ヲ指揮監督ス」

消防組ハ水火災警防ノ爲メニアラサレハ集合若クハ運動スルコトヲ得ス但警部長若クハ其ノ委任ヲ受ケタル警察署長ニ於テ儀式訓練及他ノ災害ノ爲メニ集合運動ヲ命シタル場合ハ此ノ限ニアラス

第九條　消防組ノ服務規律及懲戒ニ關スル規程ハ府縣知事之ヲ定ムヘシ

第十條　消防組ノ擧動治安ニ妨害アリト認ムルトキハ府縣知事ハ之ヲ解クコトヲ得

第十一條　府縣知事ニ於テ必要ト認ムルトキハ市町村又ハ町村組合ヲシテ消防組員ニ一定ノ手當並ニ被服等ヲ給セシムルコトヲ得

第十二條　消防組ノ使用ニ必要ナル器具及建物ハ府縣知事ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ市町村及町村組合ニ於テ之ヲ設備スヘシ

第十三條　消防組ニ關スル費用ハ其ノ市町村又ハ町村組合ノ負擔トス

第十四條　從來ノ市町村消防組ニシテ其ノ區域此ノ規則第二條ニ該當スルモノハ此ノ規則施行ノ日ヨリ三箇月以内ニ於テ府縣知事此ノ規則ニ從テ其ノ組織ヲ改ムヘシ

消防組ニ關スル從來ノ市町村條例ハ前項ニ依リ組織ヲ改メタル日ヨリ之ヲ廢止ス

第十五條　前條ニ當ラサル從來ノ消防組ハ官ノ許可ヲ得タルト否トニ拘ラス此ノ規則施行ノ日ヨリ總テ廢止ス

第十六條　此ノ規則ヲ施行スル爲メニ必要ナル細則ハ内務大臣定ムル所ノ綱

本文
31883
本文

領ニ依リ府縣知事之ヲ定ム

第十七條　此ノ規則ハ沖繩縣及東京市ニ適用セス但第七條ハ東京市ニモ之ヲ適用ス

第十八條　北海道ニ於テハ府縣知事ノ職務ハ北海道廳長官之ヲ行フ東京府郡部ニ於テハ府縣知事ノ職務ハ警視總監之ヲ行ヒ警部長ノ職務ハ警察署長之ヲ行フ

第十九條　第八條及第十條ハ此ノ規則發布ノ日ヨリ施行シ從來ノ消防組ニシテ第十四條ニ依リ組織ヲ改ムヘキモノ及第十五條ニ依リ廢止セラルヘキモノニ適用ス

勅令第十五號參照

法律第一號町村制(明治二十一年四月二十五日官報)抄錄

第百十六條第二項

法律上ノ義務ヲ負擔スルニ堪フ可キ資力ヲ有セサル町村ニシテ他ノ町村ト合併(第四條)スルノ協議整ハス又ハ其事情ニ依リ合併ヲ不便ト爲ストキハ郡參事會ノ議決ヲ以テ數町村ノ組合ヲ設ケシムルコトヲ得

○省令

內務省令第一號

消防組規則施行概則左ノ通之ヲ定ム

明治二十七年二月十日　內務大臣　伯爵井上馨

消防組規則施行概則

第一條　消防組並部ニハ細則ノ定ムル所ニ從ヒ一定ノ名稱ヲ附スヘシ

第二條　府縣知事(東京府ハ警視總監北海道ハ北海道廳長官以下倣之)ハ必要アリト認ムルトキハ消防組若クハ部ニ事務所ヲ設クルコトヲ得其設置、備品及執務章程等ハ細則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第三條　消防組若クハ部ハ細則ノ定ムル所ニ從ヒ一定ノ人員ヲ以テ之ヲ編制スヘシ

第四條　消防手ハ年齡滿十八年以上ノ男子ニシテ平素行爲粗暴ニ涉ラス身體强壯ナル者ヲ選フヘシ

但組頭及小頭ハ消防手ノ中ヨリ選拔ス

第五條　前條組頭小頭及消防手ノ採用ニ關シ規定ヲ設クルノ必要アルトキハ細則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第六條　左ニ揭クル者ハ消防手トナルコトヲ得ス

一　公權褫奪若クハ停止中ノ者

二　禁治產中ノ者

三　公費ヲ以テ救助中ノ者

四　懲戒處分ニ依リ消防手ノ職務ヲ免セラレ滿三年ヲ經過セサル者

第七條　消防組員在職中前條各號ノ一ニ觸ル丶者アルトキハ直チニ其職ヲ免スヘシ

第八條　前數條ニ揭載セルモノヲ除クノ外尙ホ消防組員ノ命免及辭職ノ手續等ニ關シテ規定ヲ設クルノ必要アルトキハ細則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第九條　水火災ノ信號及信號擔當者等ハ細則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第十條　消防組規則第七條ノ場合ニ於テ消防組ヲシテ機敏ニ相應援セシムル規定ハ細則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第十一條　消防組員ヲシテ參集又ハ現場ヘ出張ノ途中ハ勿論平常タリトモ他人ヘ對シ强迫カマシキ所爲又ハ粗暴ノ擧動ヲ爲サシメサル爲メ細則ヲ定ムヘシ

第十二條　消防組ハ期ヲ定メ演習ヲ爲スヘシ其方法等ハ細則ノ定ムル所ニ依ル

第十三條　細則ノ定ムル所ニ從ヒ建物ヲ造設若クハ修繕スルノ必要アルトキハ警察署長ハ警部長ノ指揮ヲ受ケ市參事會、町村長ニ移牒シテ之ヲ爲サシムヘシ

第十四條　消防器具ノ種類、備置場、保存ノ方法等ハ細則ノ定ムル所ニ依ル

第十五條　組頭ハ細則ノ定ムル所ニ從ヒ器具ノ現況ヲ市參事會、町村長ニ報告スヘシ

第十六條　消防組ニハ組員名簿及消防器具目錄ヲ備置クヘシ

第十七條　地方ノ狀況ニ依リ消防組員ニ被服並月手當、出場手當、傷痍手當等ヲ給與スルノ必要アルトキハ細則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第十八條　警部長ハ少クトモ每年一回警察署長ハ少クトモ每三月一回消防組ヲ巡檢シ紀律ノ保持、器具ノ完備等ヲ監査スヘシ

第十九條　懲戒ハ情況ノ輕重ニ從ヒ解職、停職、停給(月手當アル場合ニ限ル)及譴責トス

第二十條　停職ハ一年ヲ超ユルコトヲ得ス又停給ハ三箇月分ヲ超過スルコトヲ得ス

第二十一條　懲戒處分ノ手續ハ細則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十二條　此概則ニ於テ市町村ト稱スルハ北海道ノ區ヲ包含スルモノトス

市町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ此概則ニ規定シタル市參事會、町村長ノ職務及關係ハ區長又ハ戶長ニ屬スルモノトス

文部省令第三號

市町村立小學校廢止ノ際其ノ小學校敎員ノ職ニ在ル者卽日他ノ市町村立小學校敎員ニ任セラル丶トキハ勤續者トス

明治二十七年二月十日　文部大臣　井上毅

(二)

○告示

內務省告示第三十號

一陸奧　青森縣南津輕郡尾崎村大字町居三十二番戶　今井長左衞門　發行

右出版物ハ第一號記載ノ事項出版法第二條ノ範圍外ニ涉ルモノト認ムルヲ以テ自今出版法ニ依リ出版スルコトヲ差止ム

明治二十七年二月十日　內務大臣　伯爵井上馨

○第二豫備金支出

明治二十六年度第二豫備金支出

第三十六回

一金四萬七千圓　內國旅費

今般衆議院議員總選擧取締旅費トシテ本行ノ金額第二豫備金ヨリ支出ノ儀內務大臣ヨリ請求有之本大臣同意ヲ表シ之ヲ上奏シ本月一日勅裁ヲ得タリ

明治二十七年二月十日　大藏大臣　渡邊國武

○敍任及辭令

○明治二十七年二月九日

兼任帝國京都博物館長帝國奈良博物館長　帝國博物館理事從五位勳三等　山高信離

敍三等

任長崎縣南松浦郡長　福島縣東白川郡長正八位　下河邊充美

敍高等官八等　長崎縣南松浦郡長正八位　下河邊充美

愛媛縣知事兼帝國奈良博物館長　小牧昌業

非職京都府參事官兼帝國京都博物館長　森本後凋

(各通)

免兼官(九日二月宮內省)

內務次官　松岡康毅

神職試驗委員長被仰付

內務書記官　久米金彌

神職試驗委員ヲ命ス

內務大臣祕書官　安廣伴一郎

內務省文官普通試驗委員ヲ命ス

土木監督署技師　佐伯敦崇

出京ヲ命ス(以上九日二月內務省)

陸軍步兵中尉　山本安三郎

(各通)

陸軍步兵中尉　林康太

賜一等給(九日二月陸軍省)

德島縣下巡迴ヲ命ス(九日二月農商務省)

農事試驗場技師　青山元

三池鑛山鐵道線路平原勝立間監査ヲ命ス(八日二月遞信省)

遞信省鐵道技師　石丸重美

○宮廷錄事

○拜謁　今般歸朝ヲ命セラレ任所英國ヨリ歸京ノ特命全權公使子爵河瀨眞孝ヘ昨九日午前十時拜謁仰付ケラレタリ

○彙報

○官廳事項

○官吏發著　步兵第三旅團長山口陸軍少將ハ地理實査トシテ宮城縣登米郡佐沼地方ニ向ヒ本月五日該地出發セリ

曩ニ神奈川山梨靜岡三縣下巡迴ヲ命セラレタル農事試驗場技師伊地知德之助ハ本月二日歸京セリ

曩ニ神戶外六郵便電信局ヘ出張ヲ命セラレタル遞信技師吉井茂則ハ本月七日出發セリ

曩ニ出京シタル沖和歌山縣知事、和歌山縣參事官日比重明ハ一昨八日孰モ出發歸任セリ

○委員　靜岡縣ニ於テハ本月七日書記官岩男三郞ニ第四回內國勸業博覽會事務委員長ヲ參事官齋藤重高等ニ同委員ヲ命セリ

警察

○發行停止及解停　昨九日發行ノ日本第千六百五十六號ハ治安ヲ妨害スルモノト認メラレ自今發行停止且ツ同號未配布ノ分發賣頒布ヲ禁セラレタリ又曩ニ發行ヲ停止セラレタル國民新聞及長野縣下發行ノ信府日報ハ今十日ヨリ孰モ解停セラル

○出火　東京府及兵庫、石川、高知ノ三縣ニ於ケル出火左ノ如シ

東京府　本月七日西多摩郡靑梅町靑梅字森下出火全燒十九戶半燒二戶物置七棟燒失原因未詳●昨九日北豐島郡板橋町出火一棟燒失原因過失●同日淺草區並木町出火全燒三十四戶半燒四戶原因過失ナリ

兵庫縣　本月二日宍粟郡城下村ノ內上比地村出火民家一戶燒失男一人燒死原因過失ナリ

石川縣　去月三十日鹿島郡德田村字白馬出火一戶燒失女一人燒死セリ

高知縣　本月三日高岡郡西津野村出火居宅十四軒、納家等四十棟餘全燒原因過失ナリ

財政

○印紙類賣下高　廣島縣ニ於テ昨二十六年中諸印紙類賣下高並ニ前年比較增額ハ左表ノ如シ

種別	二十六年中賣下高	二十五年中賣下高	比較增
烟草印紙	円 一一三、六二八・二〇〇	円 七七、七二〇・六〇〇	円 三五、九〇七・六〇〇
賣藥印紙	一〇、七九六・六〇〇	六、九二〇・九〇〇	三、八七五・七〇〇

(三)

第3183号 本文

第3183号　本文

第3183号　本文

○公使館及領事館報告

○觀象

○全國氣象　一月九日

○輸出入部

○輸入ノ部

第3183号　本文

本文

第3183号

○入札拂下

第四師團監督部

明治二十七年二月九日

此入札保證金六十七圓ニシテ契約保證金ハ落札代價ノ百分ノ十ス

右買拂ヲ入札望ノ者ハ當造船支部會計課ニ就キ契約書案並ニ現品等熟覽ノ上本月二十六日午前十時三十分マテニ入札保證金相添ヘシ　但シ同十一時同課ニ於テ開札ス

此契約ノ締結ハ呉鎮守府造船支部長巳ニ擔任ス

神戸小鍛冶

明治二十七年二月七日

呉鎮守府造船支部

第一號　第二號　第三號

此入札保證金七圓

右入札望ノ者ハ本月二十四日マテニ當課用度掛ニ差出スヘキ入札保證金ハ落札代價ノ百分ノ五トス

此開札ハ入札心得書契約書案並熟覽ノ上同二十六日正午十二時限入札ヘシ　但シ

右當廳小切手類入札ニ付キ本月二十五日午前九時マテニ當廳出納課ニ於テ執行ス

此契約ノ遵守ハ入札心得書ニ依リ保證金ヲ以テ擔保ス

明治二十七年二月十日　遞信大臣官房調度課

○公示催告

下ノ通リ

申立人　吉田元次郎

一金壹圓六錢　當座小切手額面六拾圓

但シ明治二十七年二月三十一日付井上壽吉ヨリ京都名倉祉三井銀行宛渡

右當座小切手ノ所持人ハ明治二十七年八月十五日午前九時マテニ當廳出納課ニ於テ

此小切手ヲ提出スルヲ得サルトキハ本券ハ無效ニ屬ス

明治二十七年二月十日　遞信大臣官房調度課

○日本郵船會社汽船出發表

○郵便船出發

○同　山陰道ノ部

○同　北陸道ノ部

○同　東京郵便電信局

○官報發賣所

○公債證書

明治二十一年一月當籤

同　第拾圓券　丙ニ號　參九八番　丙ニ號　四四四貳參番

同　第拾圓券　丙ニ號　四八壹番　丙ニ號　同二十五年九月當籤

同　第拾圓券　丙ニ號　貳拾五圓券　丙ニ號　四四五壹貳番

同　第拾圓券　丙ニ號　四八〇四八番　丙ニ號　同二十五年十一月當籤

右公債證書ハ新舊公債條例第五條第五節ニ依リ期滿元金ハ期限ヲ經過シタルヲ以テ無效ニ屬ス

明治二十七年二月十日　日本銀行

○京都區裁判所

明治二十七年二月五日

此書ハ本月二十八日午前十一時同部入札人心得書及設計圖面契約書案ヲ以テ入札ニ付シ同午後四時入札ス

但シ即時開札ス

第四師團監督部

明治二十七年二月九日

右工事請負望ノ者ハ本月十日ヨリ同十九日マテノ丙午前八時ヨリ後四時入札ニ付キ大阪陸軍經濟部ニ就キ入札心得書及設計圖面契約書案ヲ以テ入札ス

但シ即時開札ス

第3183号　本文